



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-074A

発行 50年1月8日

改訂“A” 50年2月27日

1. 標 題： 才1部： オイルクーラー・チューブの点検と保護テープの追加
才2部： オイルクーラー・チューブの交換
2. 適用機体： 才1部，才2部： FA-200シリーズの機体で製造番号#243号迄の機体、
但し#41、#101、#102及び#214号機を除く。
3. 適用度： 指令事項
4. 目的： 才1部： オイルクーラー・リターン・チューブE/G側90°曲り部に亀裂が
発生した事例が数件あったので、飛行安全性確保のための点検及び保
護テープを追加する。
才2部： エンジン振動に起因する金属チューブのこすれ、摩耗、ワレ等による
オイル流出を防止するため、オイルクーラー・ラインの金属チューブ
をフレキシブル・ホースに交換する。
5. 指 示： 才1部： (1) オイルクーラー・リターン・チューブE/G側入口部90°曲り
部にダイチェックを実施し、異状がなければオイル・リターン・
チューブ当該個所に耐熱テープを巻付ける。
日常点検において当該個所の点検、耐熱テープを50時間飛行毎
に交換する。
(2) 異状が認められた場合、オイルクーラー・チューブを新しいチュ
ーブ組立と交換し、(1)項の処置をとる。
才2部： オイルクーラー・チューブ(リターン及びフィード)をフレキシブル・
ホースに交換する。

FAS-074A

PAGE 1 OF 6

6. 実施時期： 才1部： このサービス通信受領後直ちに点検を実施し、10飛行時間以内にテープを追加する。

才2部： 昭和50年3月30日迄にフレキシブル・ホースに交換実施。

7. 承認： 航空局承認(麻-東-101) 50-2-20

8. 所要部品： この作業には下記の部品が必要である。

才1部

No.	部品番号	部品名称	1機当個数
1	PE-100	耐熱テープ パーマセル社製 市販品	約1m

才2部

1	624000-6-0450	ホース	1
2	624023-6-0450	〃	1
3	MS20822-6-6D	エルボー	2
4	AN816-6-6D	ニップル	1
5	MS21919DG28	クランプ	2
6	MS21919DG15	〃	10
7	MS21919DG12	〃	2
8	MS21919DG8	〃	1
9	MS35206-247	スクリュー	4
10	MS35206-245	〃	2
11	NAS679A08W	ナット	6
12	AN960-8	ワッシャ	6
13	200-914130-007	プロテクター	2

9. 特殊工具： 才1部： ダイチェック液

才2部： なし

10. 重量重心： 才1部： 変化なし

才2部： STA925, 1.115kg増

- 1.1. 準備資料： なし
- 1.2. 所要工数： オ 1部： 4 M/H
オ 2部： 5 M/H
- 1.3. 作業手順：

オ 1部 オイルクーラー・チューブの点検及び保護テープの追加

- (1) サービス・マニュアル項目 4-3-1 により上部及び下部カウリングを取り外す。
- (2) オイルクーラー・チューブを支持しているクランプを取り外す。
- (3) オイルクーラー側のリターン・チューブ (200-914131-113,#12~18, 160HP, 200-914131-107.....#12~18, 180HP, 200-914131-119.....#19以降共通) 及びフィード・チューブ (200-914131-109.....#12~18, 180HP, 200-914131-115.....#12以降160HP, #19以降180HP) のクーラー側ナットをゆるめる。
ナットをゆるめる前に油受け皿を用意する。
- (4) エンジン側のリターン・チューブ及びフィード・チューブ (200-914131-117.....#12~18, 160HP, 200-914131-111.....#12~18, 180HP, 200-914131-123.....#19以降共通) のエンジン側ナットをゆるめる。
- (5) オイルクーラー・チューブをエンジンから取り外す。
- (6) チューブをナフサ等で洗浄後、損傷、摩耗等がないか目視点検を実施する。特にチューブのフレアの損傷について点検する。異状がある場合これを交換する。
- (7) オイルクーラー・リターン・チューブ90° 曲り部 (図-1(A)部) をダイチェック実施する。
- (8) 前項で異状がなければ、図-2の要領で耐熱テープPE-100をチューブに巻く。もし異状が認められた場合、これを新しいチューブと交換し同じ処置を行う。
- (9) チューブを取外しの逆の手順にてエンジンに取り付ける。
- (10) 上記状態において、オイル・ライン系統の点検とオイル油面の点検を日常点検で繰り返す。
- (11) 前項(8)の耐熱テープの交換を50時間飛行毎に行う。

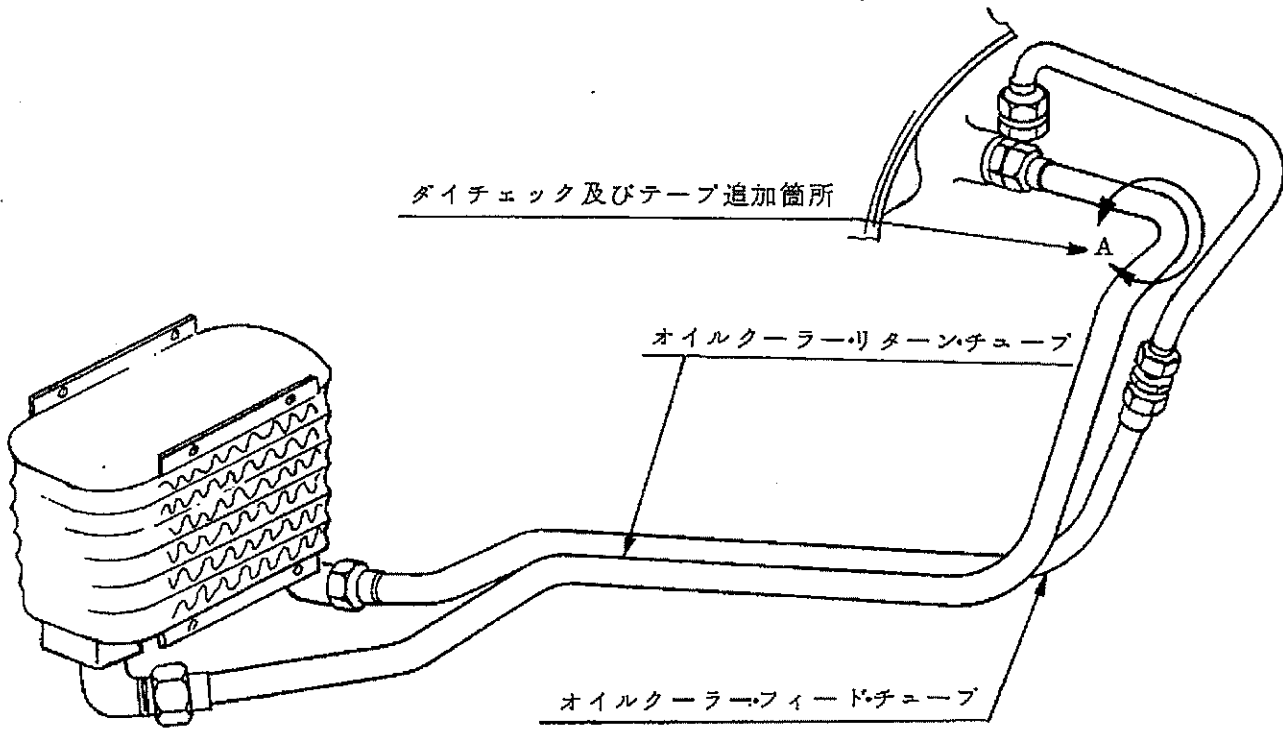


図-1

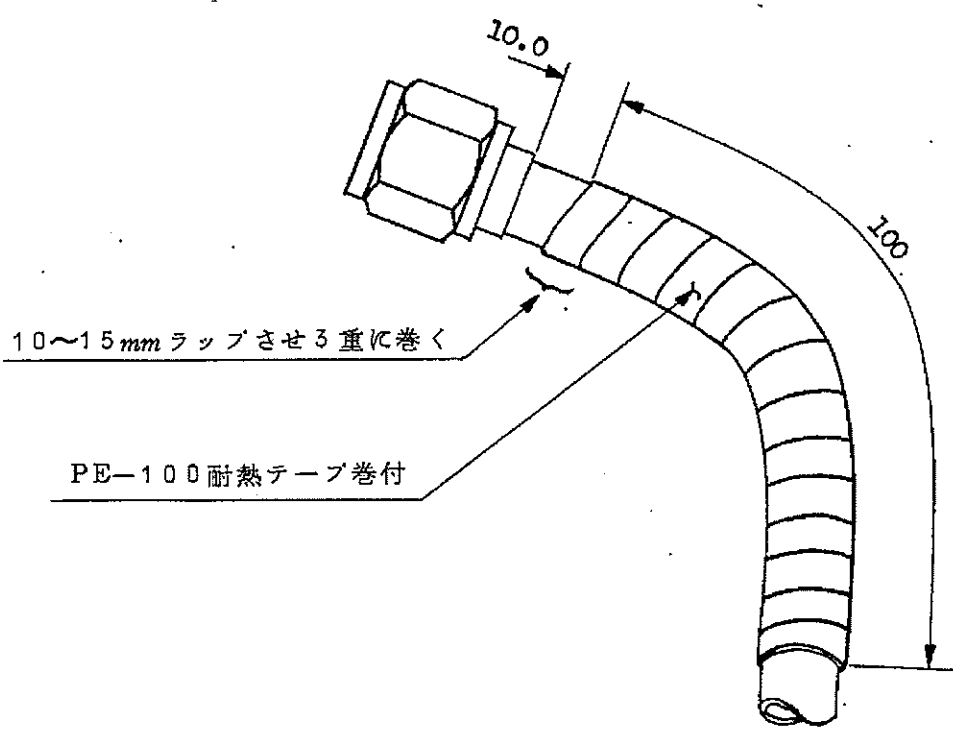


図-2 A 部詳細

才 2 部 オイルクーラー・チューブの交換

- (1) サービス・マニュアル項目 4-3-1 により上部及び下部カウリングを取り外す。
- (2) 才 1 部の作業(2)項～(5)項を実施する。
- (3) オイルクーラー部エルボ (AN833-8D, AN924-8D ナット、MS28778-8 "O" リング…… # 12～18, MS20822-8D…… # 19 以降) (図-3, ㉠部) を取り外し、MS20822-6-6D エルボ 2 枚を取り付ける。
- (4) エンジン部、リターン・チューブ用ニップル AN816-8D (図-3, ㉡部) を取り外し、AN816-6-6D ニップル 1 枚を取り付ける。
- (5) 前項(3)のエルボ MS20822-6-6D 及び前項(4)のニップル AN816-6-6D 間にホース 624000-6-0450 を接続する。
- (6) 前項(3)のエルボ MS20822-6-6D 及び㉢部ニップル間にホース 624023-6-0450 を接続する。
- (7) 前項(5), (6)のホースを㉣部 2 ヶ所 (吸気管チューブ) において、クランプ MS21919DG28, 1 枚、MS21919DG15, 2 枚、スクリュ MS35206-247, 1 枚、ナット NAS679A08W, 1 枚、ワッシャ AN960-8, 1 枚にて取り付ける。
- (8) 前項(5), (6)のホースを㉤部 (エンジン架) においてクランプ MS21919DG15, 2 枚、MS21919DG12, 1 枚、スクリュ MS35206-247, 1 枚、ナット NAS679A08W 1 枚、ワッシャ AN960-8, 1 枚にて取り付ける。
- (9) 前項(5), (6)のホースを㉥部 (真空系統排出チューブ) において、クランプ MS21919DG15, 1 枚、MS21919DG8, 1 枚、スクリュ MS35206-245, 1 枚、ナット NAS679A08W 1 枚、ワッシャ AN960-8, 1 枚にて取り付ける。
同じく㉦部 (エンジンブリーザ・チューブ) において、クランプ MS21919DG12, 1 枚、MS21919DG15, 1 枚、ナット NAS679A08W, 1 枚、スクリュ MS35206-245, 1 枚、ワッシャ AN960-8, 1 枚にて取り付ける。
- (10) 前項(5), (6)のホースが #.2 シリンダー吸気管とクロスする個所にプロテクター 200-914130-007, 2 枚を取り付ける。(図-3, ㉧部)
- (11) 前項(5), (6)のホースを㉨部に於いてクランプ MS21919DG15, 2 枚、スクリュ MS35206-247, 1 枚、ナット NAS679A08W, 1 枚、ワッシャ AN960-8, 1 枚にて取り付ける。
- (12) 作業完了後ホースと他の織装品との接触等の不具合がないか確認する。
- (13) エンジン・カウリングを取り付ける。
- (14) 系統の油洩の有無を確認する。

FAS-074A

PAGE 5 OF 6

